

国語科学習指導案

1年 1組 岩崎 千佳

1. 単元名 「おはなしの せかいを たのしもう」

教材名「スイミー」(東京書籍1年下)

2. 研究主題

**「主体的な表現者」を育むための文学の授業「焦点化教材の開発」
～未来をそうぞうする子ども「創造的実践力」の素地を養う想像力の育成～**

(1) 単元について

本単元は、1年生最後の物語の学習となる。6年間の物語学習の系統性を考えると、低学年では、場面の様子や登場人物の行動に注目して想像を広げながら読む力をつけることが重要である。そこで、1年生としては、「想像を広げる」様々な方法を知り、その方法で物語の世界に浸り、豊かに想像して読むことでお話の世界を楽しむことに焦点をあてている。1学期「とんこととん」では、挿絵の活用を、「おおきなかぶ」では、行動に注目し、登場人物になりきった音読劇を行った。また、2学期「サラダでげんき」では、「自分だったら」と自分の生活や経験とつなげて実際にオリジナルサラダを考えたり、「かいがら」では、登場人物の会話や行動に注目し、音読劇にしたり、自分の音読を録音して振り返ったりする学習を行った。また「おとうとねずみ チロ」では、主人公チロの行動を真似て動作化することで登場人物と同化することで場面の様子についても想像を広げた。また、毎日の家庭学習の音読を録音し、日々の音読の変化を客観的に聞くことで、自分自身の読みの変化にも気づくことができた。

本教材「スイミー」は、海の中に暮らすスイミーが兄弟を失い、絶望の中で海の美しいものに癒されて元気を取り戻し、今度は知恵を使って仲間と大きな魚に立ち向かう姿が描かれている。この勇氣ある行動に心を躍らせて読みつつも、海の中の場面の様子やスイミーの気持ちは1年生の子どもにとって、言葉からだけでは想像しにくい部分もあるであろう。そこで、本単元では挿絵を見るのではなく、文章から想像して絵を描くことで、海の中の世界を想像すると同時に、スイミーが見た世界を視覚化して捉えられるようにする。また、同時にその空間を表象する過程の気づきや思いなどを付箋に記していくことで、スイミーの気持ちや行動がどのように変化していったのか気づけるように進めていく。

(2) 単元の目標

- ・物語に興味をもち、想像を広げることを楽しみながら意欲的に読み進められる。(関心・意欲・態度)
- ・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げて読むことができる。(読むこと)
- ・言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(言語に関する知識・理解・技能)

(3) 国語科と未来そうぞうとのつながり

本単元で、文章から想像を広げて絵を描き、場面の様子や気持ちを想像する活動をする。その際、描く過程で感じた思いやアイデアを付箋に記すことで、自分の考えの過程を視覚化できる。この過程が次に新たなものを表象する支えとなり、創造的実践力の素地を養うことにつながると思われる。

(4) 活動構成の仮説

①文章から想像を広げて場面の様子を絵に描き、その過程で感じたことを付箋に残すことで、子どもの表象形成と読み取りとの関係を捉え、必要な手立てを打つことができる。

本教材は、1年生の子どもにとっては、言葉からだけでは捉えにくい主人公の気持ちの変化や場面の様子がある。そこで、挿絵をあえて見せず、言葉から子ども自身が想像を広げて絵に描くことで、描きながらその世界観に浸ったり、自分を主人公に重ね合わせてスイミーが見た景色を味わったりする活動を設定した。その際、感じたことや思いついたアイデアなどを付箋に書き残すことで、教師はその過程を見取り、表象と読みとの差を埋めるための新たな手立てを設定することが可能となると考えた。

学習活動の流れと子どもたちの意識の流れ	ICTの活用	指導上の留意点	言葉を意識する心情面・技能面の評価
<p>過程①学ぶ対象との出会い</p> <p>1.学習の見通しを持ち、学習計画を立てる。①</p> <p>既習事項で生かせることや、この単元で学びたいことを出し合い、学習の見通しをもつ。①</p> <p>物語だね！じゃあ想像を広げて読むためにまた音読劇をしたいな！</p> <p>一人でよんだ音読を録音してきいてみたい。様子を想像して読みたいな。</p>	<p>今までの板書や写真を見て学習を振り返り、使用したいことを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今まで学習した想像を広げるポイントを振り返ることで、本単元で使いたい方法を考えられるように支援する。 前時で学習した単元で、音読劇を通して想像を広げたときに、「今回見つけたふうを使ってもっと練習して音読を録音したい」と話していた発言をつなげ、本単元での音読の録音蓄積につなげられるように、子どもたちから言葉を引き出すようにする。 	<p>関心・意欲・態度</p> <p>過程①より</p> <p><input type="checkbox"/> 授業中の発言やノート・ワークシートへの記述を評価する。</p> <p><input type="checkbox"/> 単元の学習を進める上で、既習事項を振り返り、役立てられそうな学習の方法を想起している。</p> <p>▲ 今までに学習したことを思い出すことができない。</p> <p>◇ 今までに学習したノートを振り返るよう言葉がけをする。</p>
<p>過程②解決への見通し 解決活動</p> <p>「スイミー」</p> <p>2.「スイミー」を読んで、初発の感想を書き、全体で交流する。①</p> <p>初めて読んで、好きなところや不思議に思うところを見つけて書く。①</p> <p>「ぼくが目になろう。」のところが好きだな。あたまいいねスイミーは！</p> <p>どうしてきょうだいみんなたべられてしまったのに、げんきをとりのどせたんだろうな。</p> <p>3.登場人物や場面設定、場面わけをしながらお話のたいをとらえる。①</p> <p>登場人物や場面設定、場面わけをしながらお話のたいをとらえる。①</p> <p>スイミーだけが、まっくらいさかななんだね。からす貝って何？</p> <p>最後には大きなさかなをおいさせてよかったね。このさかなたちはきょうだいとはべつさかなだよな？</p> <p>4.文章から読み取ったことを絵を描き、さし絵をつける。(本時)④</p> <p>さしえのない2場面に、文章を読んで読み取ったことから絵を描き、さしえをつけよう。①</p> <p>ミサイルみたいということは、なんだかこわいイメージだね。つよそうなかんだな。</p> <p>一びきのこらずたべるといことは、すぐくおおきなさかななんだろうな。</p> <p>さしえのない3場面に、文章を読んで読み取ったことから絵を描き、さしえをつけよう。①</p> <p>くらうみのそだから、まっくらなイメージだね。なんだかさみしそう。</p> <p>まっくらだから、かいていてきもちがくらくらしてきたな。スイミーもこんなきもちだったのかな。</p> <p>さしえのない4場面に、文章を読んで読み取ったことから絵を描き、さしえをつけよう。①(本時)</p> <p>にじいろだから、カラフルなのかな。きのうつかったいろとはぜんぜんちがうな。たのしくなってきた！</p> <p>水中ブルドーザーって、つよそう！見たこともないさかなってどんないろかな。なんだかワクワクしてきたよ！</p> <p>さしえのない5場面に、文章を読んで読み取ったことから絵を描き、さしえをつけよう。①</p> <p>5.今まで描いたさしえを並べて、さしえつきの教科書を見ながら全文を音読し、思ったことや考えたことを友だちと交流する。①</p> <p>さしえを見ながら音読し、思ったことや気づいたことを交流しよう。①</p> <p>こんなにじいろもあるんだ！きれいな。きっとスイミーもうれしかっただろうな。</p> <p>この海でキラキラしたものにであえてげんきをもらえたのかもしれないな。</p>	<p>さしえのない本文のみの紙をくぼり、それを使う。</p> <p>描いたさしえは教室にどん貼っていき、スイミーの世界を教室に創り出す。</p> <p>初めて作者の描いたさし絵入りの教科書を使う。</p>	<p>初発の感想を書く際に、自分が不思議に思って、みんなで一緒に考えたいことや、この単元の学習でやってみたいことも書くよう言葉がけをする。</p> <p>初発の感想を一覧表にまとめ、友だちの気づきや発見を共有することで、物語に対する興味を高められるようにする。</p> <p>はじめの物語設定を確認したり、時を表す言葉に注目して場面を分けたりする中で、大まかなお話の流れを全員で捉えられるようにしておく。</p> <p>絵の出来に関わらず、読み取ったことをどんどん絵に表していったことを伝える。</p> <p>絵にする過程において思ったことや考えたこと、また絵にするうえでひらめいたことなどを付箋に書き溜めておき、後で自分の考えを視覚化して振り返ることができるようにしておく。</p> <p>子どもの付箋から、表象と読み取りの間に差が生じ、活動がとまっている子を見つけ、個別の手立てをとるようにする。</p>	<p>読むこと</p> <p>過程②より</p> <p><input type="checkbox"/> 授業中の発言やノート・ワークシートへの記述を評価する。</p> <p><input type="checkbox"/> 初めて読んだ感想や不思議に思ったことを自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>▲ 初めて読んだ感想や不思議に思ったことを見つけることができない。</p> <p>◇ 自分が好きだなと思ったり、あれ？と思ったりするところに、教科書に線を引くよう言葉がけをする。</p> <p>読むこと</p> <p>過程②より</p> <p><input type="checkbox"/> 文章を絵に表す中で、場面の様子やスイミーの気持ちについて想像を広げている。</p> <p>▲ 絵の出来に関わらず、文章から読み取ったことを絵にすることができない。想像を広げることができず、物語の世界を楽しむことができていない。</p> <p>◇ 子どもの書いている付箋や活動の進捗状況を参考に、手が止まっている子どもには、どんな色を使うか、どんな形かななどを声かけして、想像を広げられるよう支援する。</p> <p>言葉についての知識・理解・技能</p> <p>過程②より</p> <p><input type="checkbox"/> 授業中の発言やノート・ワークシートへの記述を評価する。</p> <p><input type="checkbox"/> 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。</p> <p>▲ 単語ごとのまとまりについて、気づくことができない。</p> <p>◇ 単語の意味に注目することで、その言葉の意味を知り、語句のまとまりをとらえられるようにする。</p>
<p>過程③学びのふりかえり</p> <p>7.単元の学習を振り返り、学んだことや今後に生かしていきたいことをまとめる。①</p> <p>この単元で学んだことや今後も活かしたいことを、ノートにまとめる。①</p>		<p>本単元での学習の中で、今後にいかにせうなことから、まとめておくよう言葉がけをする。</p> <p><input type="checkbox"/> ……評価の方法</p> <p><input type="checkbox"/> ……満足できる姿</p> <p>▲ ……支援を要する姿</p> <p>◇ ……支援の方法</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p><input type="checkbox"/> 授業中の発言やノート・ワークシートへの記述を評価する。</p> <p><input type="checkbox"/> 単元の学習を振り返り、今後の学習に役立てられそうな内容を想起している。</p> <p>▲ ここまでに学習したことを思い出すことができない。</p> <p>◇ ここまでに学習したノートを振り返るよう言葉がけをする。</p>